

平成28年度

公益財団法人日本体操協会 第2回理事会議事録

1.日 時 平成28年12月3日(土) 13時00分～14時55分

2.場 所 渋谷フォーラム8 401会議室

3.出席者 <理事>

二木会長、塚原副会長、石崎副会長

渡辺専務理事、遠藤常務理事、塚原千恵子常務理事、山崎常務理事、
山本常務理事、竹村常務理事、米田常務理事、
長谷川理事、加納理事、村木理事

13名

<欠席>

具志堅副会長、水鳥常務理事、竹内常務理事、張西常務理事
荒木理事、福井理事、田坂理事

7名

<監事>

監物監事

1名

<欠席>

竹田監事

1名

4.議題

4. 1. 審議事項

- (1) 専務理事 2017年度協会の組織体制と執行役の配置について
- (2) 男子体操 2017年日本代表選手選考方法について
- (3) 女子体操 2017年日本代表選手選考方法について
- (4) 新体操 2017年日本代表選考方法について
- (5) トランポリン 2017年日本代表選考方法について
- (6) 体操女子 2020東京オリンピック特別強化対策について
- (7) 総務 平成28年度協会三賞表彰候補者

4. 2.報告事項

- (1) 専務理事 国際体操連盟（FIG）総会選挙報告
- (2) 専務理事 内村航平選手のプロ化について
- (3) 事務局 平成26年度ターゲットエイジ助成金返還の件
- (4) 専務理事 2020 東京オリンピック体操スポーツマネジャー選任
- (5) 専務理事 リオ・オリンピックメダリスト報奨金について

席上配布資料： ①男子体操：第47回世界選手権・27回ユニバーシアード大会日本代表選考方法

② アスリート委員会編 一流のアスリートになる心得

5.二木会長挨拶

今回、リオ・オリンピックでの体操日本選手団の活躍は目覚ましいものがあり、男子団体は3大会ぶりの金メダル、個人総合2連覇の内村選手の金メダル、白井選手の跳馬での銅メダル、体操女子も48年ぶりの4位入賞、新体操は8位入賞、トランポリンは棟朝選手が4位、伊藤選手が6位入賞と体操ニッポンの活躍が目立ちました。さらに10月に東京で開催された FIG 総会において、渡辺専務理事が次期会長選挙で、新会長に選出された。男子団体金メダル、FIG 会長就任と2つの大きな目標がクリアされた年となり2020 東京オリンピックに向けて、幸先よいスタートが切れました。

6..権限審査

本日、理事会の出席者は13名であり、定款第7章第39条の定足数10名を超えているので本会議は合法的に成立していることを渡邊事務局長より報告した。

7.議長就任

定款第7章第38条の定めるところにより、二木会長が議長に就任した。

8..議事録署名人

議長は、議事録署名人として議長ならびに米田常務理事の2名を指名し、議場に諮り、全員が賛同した。

なお、出席監事1名は定款第43条第2項の規定により、理事会議事録に記名押印することとなる。

9.審議事項

第1号議案 2017年度協会の組織体制と執行役の配置について

渡辺専務理事は、2017年度の新組織について新組織選考委員会（会長、副会長、専務理事、総務担当常務、監事1名による構成）を3回開催した結果を提案し議場に諮った。

① 組織改編に関する手続きの提案

- ・協会定款第20条により、協会の理事、監事の選任および解任は評議員会の決議事項である。次回の理事、監事の選任は2017年6月の評議員会となる。
- ・協会定款第28条、29条により、協会の会長、副会長、常務理事および業務執行理事は理事の中から、理事会によって選任することとなっている。
- ・上記により、理事、監事の選任は評議員会ではあるが、執行役員の選任は理事会の決議事項であり、今回の理事会にて組織変更も可能であると理解する。理事、監事と執行役員は別であるという理解をしてもらいたい。
- ・毎年開催される世界選手権は9月に体操、10月に新体操、11月にトランポリンが開催される。この世界選手権の結果に基づき、毎年、新年度の組織体制を見直すほうが効果的であると考え。
- ・毎年11月に新年度の新組織編成検討会議を開催、12月の理事会にて新年度組織編成の提案、承認を行い、12月第2週には新年度組織をスタートさせる。
- ・上記により、新年度が早くスタートでき効果的であると考え。

② 渡辺専務理事の国際体操連盟会長就任に伴い、国際体操連盟はの会長は各国協会の会長職、専務理事職との兼務を慣習として禁じているため、専務理事の辞任を承諾し、副会長職を任命することとする。

但し、副会長職就任についてもIOC倫理規定の利益相反に抵触する可能性があるため、確認を必要とし暫定処理とする。

③ 山本宜史常務理事・トランポリン強化本部長（52歳）に専務理事代行職を任命する。正式な役員改選は2017年6月の評議員会となるため、それまでの期間は専務理事代行とする。

④ トランポリン強化本部を男子と女子に分離し、下記の者を任命。

男子強化本部長に中田大輔氏(42歳)※新任:慶応大学・東栄住宅コーチ。

女子強化本部長に丸山章子氏(43歳)※新任:金沢学院大学准教授。

⑤ 総務委員会から広報委員会を分離し、下記の者を任命。

広報委員長に田中 光氏(44歳)※新任:流通経済大学教授

- ⑥ その他の組織編制および担当者に関しては、リオオリンピックの大会結果を考慮し留任とする。

議長は、渡辺専務理事の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第1号議案は原案通り、承認・可決された。

第2号議案 男子体操 2017年日本代表選手選考方法について

本件、水鳥男子強化本部長が欠席のため、代わりに米田常務理事より説明を行った。

『世界選手権』

NHK杯個人総合2名、種目別代表候補選手を複数名選出し、9月に種目別独自世界ランキング上位者より4名選出。

『ユニバーシアード』

NHK杯個人総合3名、チーム貢献得点選出者2名。

『ナショナル強化指定選手選考方法』

- ① 2017世界選手権日本代表選手
- ② NHK杯上位12名
- ③ 全日本種目別選手優勝者

監物監事より、ユニバーシアードと世界選手権との間に期間はどれだけあるのかとの質問に対し、約1ヶ月あるとの回答があった。

加納理事より、ユニバーシアードのメンバーは世界選手権のメンバーにもなれるのかとの質問に対し、種目別代表選手においては兼ねることができる。その場合、体調管理に充分留意する必要があるとの回答があった。

議長は、米田常務理事の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第2号議案は原案通り、承認・可決された。

第3号議案 女子体操 2017年日本代表選手選考方法について

塚原千恵子本部長より、下記の説明があった。

『世界選手権』

NHK杯個人総合2名、3競技会における各種目の1位の選手から2名。

『ユニバーシアード』

世界選手権個人総合代表2名を除く全日本個人総合上位5名。(予選・決勝)

『ナショナル強化指定選手』

- ① 2017 世界選手権日本代表選手
- ② NHK 杯上位 12 名

議長は、塚原本部長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第 3 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 4 号議案 新体操 2017 年日本代表選手選考方法について

山崎本部長より、下記の説明があった。

『世界選手権ペサロ大会』 8/30-9/3

団体：フェアリージャパンポーラ

個人：特別強化選手（皆川・早川・喜多）の中から 2 名を代表。

『ユニバーシアード』 台北：8/19-29

団体・個人：29.4.23.の最終選考会で決定。

『アジア選手権』

団体：フェアリージャパンポーラ。個人：最終選考会

『アジアジュニア選手権』

団体：トライアウトで選考した選手でナショナルジュニアチーム編成。

個人：最終選考会で決定。

『ナショナル強化指定選手』

28.12.25.のトライアウト後に決定。

議長は、山崎本部長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第 4 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 5 号議案 トランポリン 2017 年日本代表選手選考方法について

山本本部長より、下記の報告があった。

『世界選手権』

1 次選考会（5/13-14:前橋）で最上位 1 名。

最終選考会（6/24-25：高崎）で上位 3 名。（派遣標準得点をクリアした選手）

席上、遠藤常務理事より、第一次選考会の 1 位の選手は、最終選考会に出場しなくてもよいのかとの質問にそのとおりですと回答があった。

また、村木・加納理事より、派遣標準得点をクリアしないと派遣しないということは、4 名以下の場合もあり得るのかと質問にそのとおりですと回答があった。

議長は、山崎本部長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第 5 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 6 号議案 体操女子 2020 年東京オリンピック特別強化対策

塚原千恵子本部長より、下記の説明があった。

ナショナルチームを常設し、選手強化を実施。

29.1.8. (日) のトライアウト要項の確認 12/末申し込み締め切り

・参加資格 2016 ナショナル・ジュニアナショナル強化選手、強化本部員推薦

席上、加納理事、山崎常務理事等から次の意見表明があった。

海外合宿等はアメリカ・日本と協力してやる。学校・補習等の問題。

議長は、塚原本部長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第 6 号議案は原案通り、承認・可決された。

第 7 号議案 総務 平成 28 年度協会三賞候補者について

遠藤総務委員長より、下記の説明があった。

功労賞はブロック、加盟協会、委員会から 20 件の候補者。

感謝状は 7 社。

議長は、遠藤委員長の説明に対し、質問・意見の有無を確認し、議場に諮り、第 7 号議案は原案通り、承認・可決された。

議長は以上を持って審議事項を終了した旨、報告し、他の提案議題があるかを議場に図った、特に提案議題がなかったため、報告事項に移った。

報告事項第 1 号議案 国際体操連盟 (FIG) 総会選挙報告

渡辺専務理事より、下記の報告があった。

28.10.19.第 81 回 FIG 総会東京にて次期役員選挙

第 9 代会長	渡辺 守成
男子体操技術委員	富田 洋之
新体操技術委員	関田史保子
一般体操技術委員	荒木 達雄
エアロビック技術委員	八木タミー

当初立候補していた張西芳枝氏は健康上の理由により、立候補辞退。
渡辺新会長より、選挙結果等の報告がなされた。(満場拍手)

報告事項第2号議案 内村航平選手のプロ化について

渡辺専務理事より、報告があった。

2016.11.30.をもってコナミを退社。(株)スポーツコンサルティングジャパンを
エージェントとして、プロ体操選手として選手活動を続ける。

基本方針：日本体操協会は全面的に支援。協会とエージェント、内村選手との
三者で細心の注意を払い活動を推進。

練習環境：NTCの全日使用許可(特例)

マーケティング活動：①協会が指定する日本代表選手：日本体操協会選手以外
の露出はない。

② それ以外のプロ選手としての活動 縛りはないが
事前に協会と相談

監物監事、長谷川理事から意見表明あり。

・内村選手をアスリート委員会に入れたほうが良いのではないかと

報告事項第3号議案 事務局 平成26年度ターゲットエイジ助成金返還の件

渡邊事務局長より、下記の報告を行った。

- ・平成26年度の補助金事業の中で「ターゲットエイジ事業」という100%助成
金事業が実施された。
- ・経理処理の途中で、他の補助金事業と同様に、参加選手負担金を徴収
していた。
- ・意図的ではなく、単純な経理処理ミスとして663,100円の補助金返還を行う
こととなった。

今後、所定の規則の改定を行い、助成金処理の適正化を図る所存である。

報告事項第4号議案 専務理事 2020東京オリンピック体操スポーツマネジャーの件

渡辺専務理事より、下記の報告を行った。

前回常務理事会で専務理事一任となっていたもの。

体操スポーツマネジャー：遠藤幸一常務理事

語学堪能・専門知識を有する(体操・新体操・トランポリン)

報告事項第5号議案 専務理事 リオ・オリンピックメダリスト報奨金について

渡辺専務理事より、下記のとおり、報告があった。

競技者規則細則第6条、第7条 報奨金大会はオリンピック、世界選手権大会で、
所定金額は金メダル 50万円、銀メダル 30万円、銅メダル 20万円

オリンピック団体12年ぶりの金メダルに対し合計、

金 300万円 銀 200万円 銅 100万円とする。

したがって、特別報奨金は金 250万円、銅 80万円となる。

内村選手のオリンピック2連覇、世界選手権を含め8連覇の偉業に対し

会長報奨金 400万円を加算支給。

これにより内村選手のオリンピック報奨金は1千万円となった。

なお、コナミ、日体大の所属に対し、各 50万円を支給。

9.閉 会 議長は、すべての事項の終了を確認し、14時55分に閉会を宣言した。

平成28年12月3日

議事録署名人 二木 英徳

議事録署名人 米田 功

議事録署名人 監物 永三